

20 年間のステロイド使用後の全身症状を経て日常生活が戻った成人アトピーの経過 (28 歳 女性)

症例 ID：001-20-NMs | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

小学生頃から耳下や肘内側に症状があり、約 20 年間ステロイド外用を続けました。20 歳以降は顔にも症状が出て、結婚・出産後に顔から首、背中、腕へ赤みと腫れが広がりました。

断乳後の悪化に対してステロイド外用と注射を受けましたが、中止すると再燃する状態が続きました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小学生期から約 20 年間、外用薬を使用し、成人期にはステロイド注射も受けました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	約 20 年間です。
中止時期	松本医院受診時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小学生期～	発症・長期外用	耳下、肘内側の症状にステロイドを使用しました。
20 歳以降	顔面症状	接客業の中で顔面症状にも外用を続けました。
断乳後	全身悪化	顔、首、背中、腕へ赤みと腫れが広がり、注射も受けました。
松本医院受診	治療開始	ステロイドを中止し、治療を開始しました。
治療初期	強いリバウンド	全身が赤く腫れ、熱感、不眠、落屑、手指の出血がみられました。
約 1 年後	回復傾向	強いリバウンドを抜け、日常生活が戻りました。
その後	出産後の波	第二子出産後に一時的な悪化があり、治療を続けました。
経過後	生活変化	人前に出て半袖を着たり、素手で包丁を使えるようになりました。
その後	通院終了	症状が落ち着き、通院しなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後に全身が赤く腫れ、熱感と不眠、落屑、手指の出血が重なった時期です。

5. 困りごと

- 全身症状のため外出を週 1 回の買い物程度に限る時期がありました。
- 手指の傷で料理に使い捨て手袋が必要でした。
- 育児を続けながら強い全身症状に対応する必要がありました。

6. 経過のまとめ

約 1 年で強いリバウンドを抜け、人前に出ることや半袖を着ること、素手で包丁を使うことが可能になりました。その後は症状のために通院する必要がなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。